

# バーク堆肥のカチオン交換容量

## ◎ぴたグリーンRの主成分はバーク堆肥

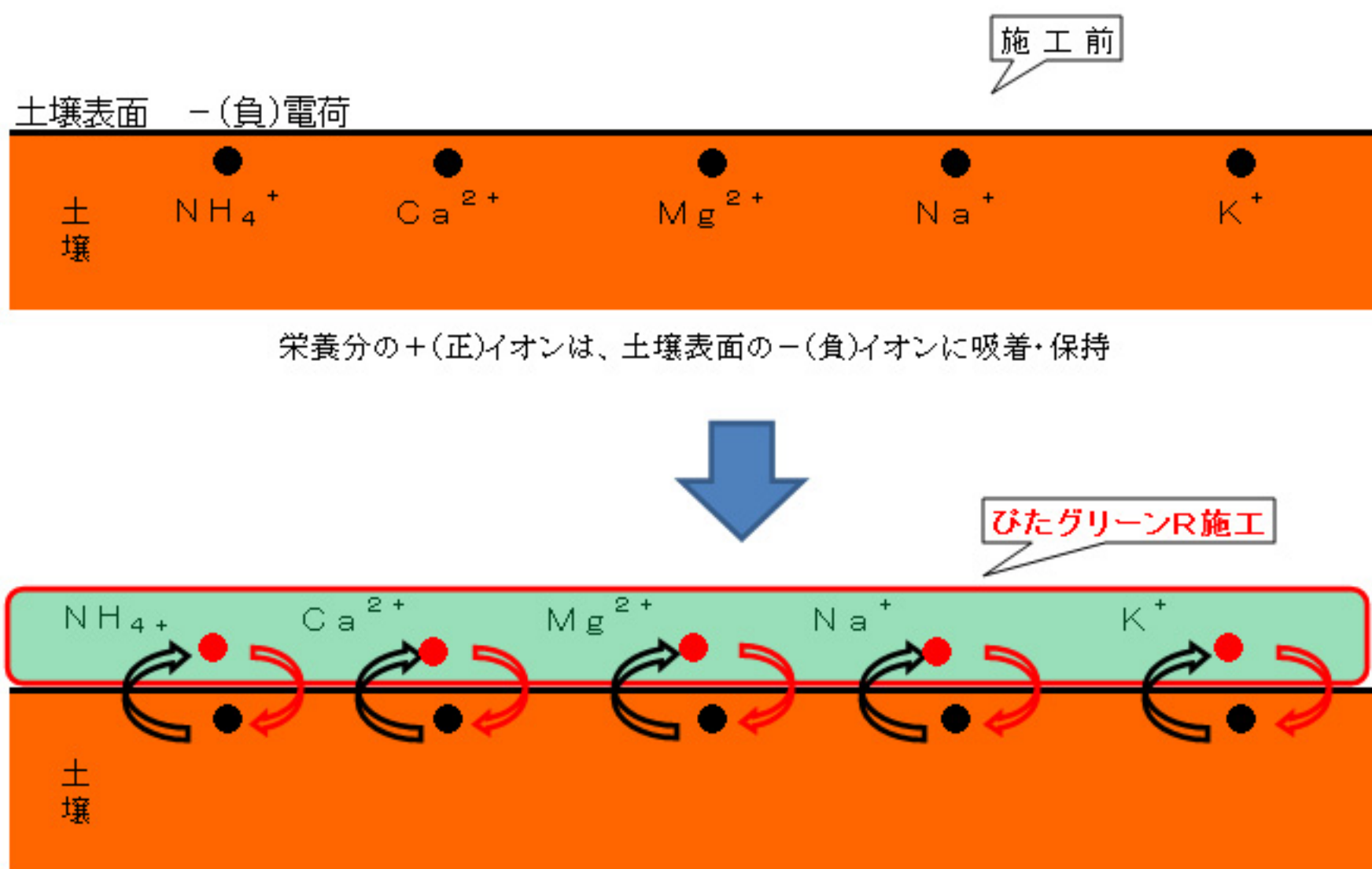
カチオン交換容量が大きく植物の育成に最適！

## ◎バーク堆肥の特性

土壤中の肥料・栄養分の多くは、+ (正) 電荷の陽イオン(カチオン)の状態、- (負) 電荷の土壤表面に吸着・保持されて存在しています。

堆肥には、土壤表面に吸着・保持された肥料・栄養分を他の陽イオンに置き換え、植物に吸収されやすくする能力があります。

バーク堆肥は、他の堆肥に比べて非常に高い交換能力(カチオン交換容量)を持っています。



●「土壤栄養分(カチオン)」が、●「ぴたグリーンRの+ (正)イオン」と交換され植物に吸収

カチオン交換容量 (CEC = cation exchange capacity)

土壤表面に吸着されている陽イオンが溶液中の陽イオンと交換する現象を陽イオン交換という。交換される陽イオンを交換性陽イオンといい、土壤コロイドの種類によって異なる。

腐植、モンモリナイト、パーキュミライトに富む土壤ではCECが大きく、カオリナイト質や砂質の土壤では小さい。

※のり面緑化技術 厚層基材吹付工 (平成17年 日本法面緑化技術協会編)